

2015年5月11日

エフセキュア、新たなサービスで BYOD のセキュリティインシデントに対応

(2015年4月14日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

サイバーセキュリティ企業であるエフセキュアは、新サービスの **Freedom for Business** の発売を開始し、企業による BYOD および会社所有のモバイルデバイスを保護します。

今日の企業の従業員は、仕事をするために必要であればどんなデバイスでも使いたいと思っています。このことから多くの企業が BYOD（個人デバイスの業務利用）ポリシーを採用していますが、その際に自社のセキュリティを犠牲にしているケースが多く見られます。エフセキュアが提供を開始した新サービス Freedom for Business は、企業のセキュリティニーズと従業員のフレキシビリティへのニーズに対応するよう統合された、企業と従業員の双方にとって最高のサービスです。

Freedom for Business は、現代のモバイルビジネスのニーズに合わせて作られたエフセキュアの Freedom アプリです。ユーザごとに可変で人気のワンボタンインターフェースを維持しながら、ビジネス志向の包括的な機能セットを追加し、企業のデータとネットワークのセキュリティ保護をサポートします。Freedom for Business では、現代の企業にとって重要な 3 つの保護機能（暗号化通信、アプリとウェブのセキュリティ、一元管理）が、単一のクラウドベースセキュリティサービスに統合されています。

BYOD の生産性とセキュリティを向上

エフセキュアのコーポレートセキュリティ担当バイスプレジデント、ペッカ・ウスヴァは次のように述べています。「ビジネスモビリティの現在のトレンドは、従業員に最も使い慣れたデバイスの使用を認めることです。それにより企業はコストを抑えることができ、従業員は効率的に作業ができます。これらのさまざまな種類のハードとソフトのすべてを管理しようとするれば、それに応じた特有のセキュリティ問題が発生するため、増大するモバイルの一元管理のために SaaS ソリューションとして企業にセキュリティを提供することは、弊社のサービスパートナーにとって非常に大きなビジネスチャンスです。」

ガートナーの調査では、BYOD のトレンドが拡大していることが確認されています。同社は、2016 年までに企業の 38% が従業員へのデバイスの支給をやめると予測しています*。さらに最近の調査では、BYOD ユーザの約 4 人に 1 人が自分のデバイスにセキュリティ上の問題があると認めているとし、BYOD に伴うセキュリティリスクを強調しています**。こうしたデータを考え合わせると、元サイバーセキュリティ担当大統領補佐官のリチャード・クラークが、企業国家アメリカが直面している「最大の脆弱性」と表現したように、サイバーセキュリティにおける深刻なセキュリティギャップが生じる可能性があります***。

ウスヴァは、こうした BYOD のトレンドは、サイバーセキュリティが従業員のストレスになっていることを示していると言います。「従業員が制限されている、あるいはわかりにくいと感じるようなセキュリティソリューションを導入している企業が多いため、従業員は単純に自分のデバイスを使用することで無駄を省いています。Freedom for Business は、コンシューマ向け製品で成功しているワンボタンのインターフェースを採用し、企業向けに効果的にアレンジされたセキュリティソリューションです。ボタンをタップするだけでセキュリティソフトを立ち上げて動作させることができます。」

ひとつのポリシーですべてを管理

Freedom for Business は、エフセキュア プロテクション サービス ビジネス (PSB) を通じて実装されます。PSB は 4 年連続で AV-TEST の「Best Protection Award」を受賞した技術をベースに構築されています。Freedom for Business では、高い評価を得ているこの保護技術を拡張し、企業のネットワークに接続するモバイルデバイスも対象に含めています。これにより、従業員はボタンをタップするだけで、通信を暗号化してアプリと Web ブラウザを保護できます。さらに、企業はアンチセフトなど追加のセキュリティ機能を実装し、ビジネスで使用するすべてのデバイスの安全性を確保することができます。

エフセキュアのテクニカルプロダクトマネージャ、セバスチャン・ネイタモは、次のように述べています。「アンチセフト機能により、IT マネージャは、ランダムに生成したパスワードでデバイスをロックしたり、リモートでデータを抹消したりすることができます。紛失したり盗難されたりしたデバイスによって生じたデータ漏洩から企業を守るこの機能は極めて重要です。さらに、IT マネージャはデバイスのセキュリティ状況もチェックできるので、悪質なウェブサイトに頻繁にアクセスするといった危険な行為に気づいた場合は、セキュリティインシデントとなる前に行動を起こして問題に対処することができます。」

企業は中央のインターフェースからデバイスを管理できれば、従業員が業務中にできることとできないことについて複雑な制限をかけることなく、デバイスのモバイルセキュリティを監視できるとネイタモは言います。また、従業員の個人デバイスとサイバーセキュリティに対する企業の総合的なアプローチを組み合わせ、PC またはポスト PC における BYOD デバイスと会社所有のデバイスを効果的に統合して一元的で安全なデバイス管理を実現できます。

現在販売されている Freedom for Business は、Android と iOS デバイスに対応しています。Freedom for Business と PSB に関する詳細についてはエフセキュアのウェブサイトをご覧ください。

*出典: <http://www.gartner.com/newsroom/id/2466615>

**出典 : <http://www.gartner.com/newsroom/id/2739617>

*** 出典 : <http://www.networkworld.com/article/2181260/security/former-cybersecurity-czar-clarke-says-smartphones--digital-certificates-create-huge-securit.html>

詳細情報 :

https://www.f-secure.com/ja_JP/web/business_jp/products/protection-service-for-business

https://www.f-secure.com/ja_JP/web/business_jp/products/freedom-for-business

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.com>

F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、オンラインセキュリティおよびプライバシー保護を提供するフィンランドの企業です。弊社は、世界中の何百万人もの人々が、監視されることなくインターネットを楽しみ、オンラインの脅威からの安全性を提供します。弊社の存在意義は「デジタルフリーダム」のために闘うことです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2014年5月に日本法人設立満15周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
代表取締役社長: イングヴァー フロイランド
所在地: 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

マーケティング部

Tel: 03-3556-6301 Fax: 03-3556-6295

Email: japan@f-secure.co.jp

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F

URL: <http://www.f-secure.com>

Blog: <http://blog.f-secure.jp>